

共生

本丸中学校
生徒指導部だより
平成28年12月22日
第8号

12月の学校の様子

12月15日の夜から雪が降り、16日の朝はたくさんの雪が積もりました。除雪が追いつかず、本丸中学校の前庭は雪が積もったままでした。車も入りにくい状態でしたが、朝練などで登校した生徒を中心に、多くの生徒が雪かきをしてくれました。また、除雪したところに車を誘導し、事故が起こらないようにしてくれた生徒もいました。こういう場面に接すると、本丸中学校の生徒の素晴らしさを感じることができてうれしくなります。

振り返ってみると、2学期にはうれしいことがたくさんありました。その中で、生徒ではなく保護者の皆様のごことで、印象に残っていることがあります。それは、合唱コンクールのことです。今年度も大勢の方が来場されたため学年ごとに入れ替えをお願いしましたが、たくさんの方から協力していただき入れ替えがスムーズにできました。入れ替えがうまくいかないとトラブルにつながりかねませんので、本当にうれしく思ったことを覚えています。本丸中学校には人のために一生懸命考え、行動できる生徒がたくさんいます。その背景には、素晴らしい保護者の皆様や地域の方々がいるということに改めて感じました。

12月は生徒間のトラブルが3件（指導継続中）ありましたので、ご報告いたします。また、本丸中の生徒に関してお気づきのことがありましたら、良いことでも悪いことでも遠慮なくご連絡ください。もうすぐ今年が終わりますが、来年も生徒一人一人がお互いのことを大切に、さらに成長していけるよう、地域や保護者の皆様とともに生徒の成長を支えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

本丸中学校（担当：波多野）Tel 22-2525

冬休みを有意義に過ごしましょう

① 命を大切にしましょう

冬休みに心配される事故が、降雪や凍結による交通事故、スキー場での事故などです。自分の命を守るという観点から事故防止に努め、危険なことが周囲にないのか察しながら行動してほしいと思います。一つしかない尊い命を大切にしてください。（裏面に「冬の生活について」を記載しましたので、お読みください）

- ・降雪、凍結、荒天時には自転車に乗らない。
- ・交通ルールを遵守する。（飛び出しや信号無視は絶対にしない。広がって歩かない。歩行時は右側、自転車は左側を通行するなど。）
- ・立ち入り禁止になっているところや、危険なところには近寄らない。

② 規則正しい生活習慣で、健康に過ごしましょう

冬休みを楽しく過ごすためにも、健康第一です。早寝早起きを心掛け、三食をしっかりとるなど、規則正しい生活を送ってほしいと思います。また、外泊、生徒同士でゲームセンターやカラオケボックスへ行くことは禁止です。

③ 法にふれる行為は絶対にしない

万引き（盗み）、飲酒、喫煙、性非行、恐喝等の法律にふれる行為は絶対にしてはいけません。また、お年玉等で大金を持つ時期でもあります。**お金の貸し借り、おごりあい**は人間関係のトラブルとなることが多いので、お互いにそういうことはしないでください。

冬の生活について

たくさん積もった雪も消えてきましたが、今後はまとまった降雪が考えられます。雪のある時は普段の生活と違う危険があります。冬休みや3学期には以下のことに気を付けて生活をしてほしいと思います。また、ご家庭でも話題にさせていただきたいと思います。

校外での生活と登下校

① 交通安全に気を付ける。

積雪や道路の凍結などで道路状態が悪化します。いつも以上に周囲の状況に気を配り、交通安全に気を付けてほしいと思います。また、自動車がタイヤを替えるように、冬にあった滑り止めの付いた靴を履いてほしいと思います。道が狭くなり、歩行者のすぐ近くを通る車も見かけられます。雪で足が滑り転倒し、思わぬ事故に遭うことがないようにしてください。

② 積雪や道路の凍結があるときには自転車に乗らない。

学校では12月15日から自転車での登校を禁止にしました。ご家庭におかれましても、危険防止のため自転車通学をしないようにご指導をお願いいたします。

③ 歩きながら雪玉遊びをしない。

道路を通行中に他のものに気を取られると危険です。特に遊びとなると、夢中になり交通安全に気が回らなくなります。遊びながら歩くことはやめましょう。また、雪玉遊びは周りに迷惑をかけることがあります。以前、友達と道路を挟んで雪玉の投げ合いをしていたら、通行中の車に当たり、運転をしていた方とトラブルになったということがありました。また、絶対にあってはならないことですが、道路を歩いていた小学生をめがけて雪玉を投げたということもありました。雪玉を投げ合って遊ぶときは周りに迷惑がかからない広い場所でしてください。周りに人がいたり物があつたりするところではしないようにしましょう。

④ 危険な場所には近づかない。

雪が積もるといつもは見えるものが見えなくなります。立入禁止箇所や河川、貯水場には絶対に近づかないようにしてください。雪の下に穴が開いていたり、川の境目がわからなかったりすると、大きな事故につながります。以前、雪を捨てるための排水溝のふたが開いていて、児童が落ちてしまったという事故がありました。普段は大丈夫なところにも十分気をつけてほしいと思います。また、除雪車が除けた雪を集めて山になっているところや、雪が積もった屋根の下なども危険です。そういうところで遊ばないようにしてください。

校内での生活

① 校舎内に雪を持ち込まない。

校舎に雪が入るといろいろなものが濡れて汚れてしまいます。特に、廊下が濡れてしまうと滑ってしまいとても危険な状態になります。校舎内には雪を持ち込まないように気をつけましょう。また、気温が下がると結露が出て、廊下が濡れてしまうことがあります。転倒しないよう、気をつけて歩くようにしてください。絶対に走ってはいけません。

② 校舎内でも危険な場所に行かない。

落雪の危険があるため、外に出る扉を何カ所か封鎖しました。「落雪注意」という張り紙をし、扉が開かないようにしてあります。そこから外に出ないようにしてください。また、中庭も雪で地面が隠れると危険になります。冬期間は立ち入らないようにしましょう。

車での送迎

自家用車で送迎する場合には、これまで通り校門前の道路でお子さんを乗降させることはしないでください。敷地内での乗降をお願いいたします。その際、校門付近が混雑して、車と生徒が交錯するなど危険な状況があります。また、通路の真ん中で止まり、後ろの車が入れないということもあるようです。周りの状況を確認していただき、危険のないようグラウンドの脇などの広いスペースまで進んでからお子さんを降ろしていただきたいと思います。少しでも近いところと、生徒玄関の所まで入る車がありますが、これは大変危険です。生徒玄関前の停車は絶対にやめてください。生徒の安全確保のため、ご協力をお願いいたします。